

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年6月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	鹿児島県指定第4670300732号
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム 湧水の里
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250番地8 (電話) 0994-43-2514
自己評価作成日	平成23年4月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年5月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム湧水の里は雄大な高隅山と湧き水豊かな田園風景が広がる自然に恵まれた素晴らしい環境の整った場所にあります。建物は広い共用空間があり落ち着いた雰囲気の中で日中は入居者様が過ごしやすく、職員と共にリハビリ体操やレクリエーションを楽しみ、天気の良い日には、野に咲く草花を眺めたり、花を摘んだりしながらの散歩を楽しまれるなど笑顔の絶えない明るいホームです。また、年2回の家族会ではスタッフ手作りのお弁当を作り家族的な雰囲気の中楽しい会話や踊りに花が咲き「いいところだねえ～」と大変喜んで頂いております。

職員の資質向上に向けた取り組みとしては毎月テーマにそったレポート提出サービスの質の向上に向けての意見交換も活発に行いながら、チームワークでよりよい支援を目指し日々取り組んでおります。医療面においては、各種病院にも近い為に、入居者様の急変時においては早急な対応が可能となっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「明るく豊かな心と心のふれあい」「地域と共に」の理念のもと、入居者は自然体で過ごしており、散歩道で摘んだ草花を生けたりして豊かな時間を楽しんでいる。利用者は日課として、リハビリ体操・嚥下体操を取入れて体力維持・健康管理を推進しており、風邪や病気の罹患者をおさえるように努めている。運営推進会議では、家族からも建設的な意見が提起され、ホーム運営の向上に活かしている。地域行事の8月踊りには、ホームから90歳以上の利用者も参加したり、また、祓川棒踊り等、披露している。食事はホームで自家栽培した米や菜園の野菜を収穫して料理したり、外食・行事食・1日旅行・家族と共に食べる弁当などを楽しんでいる。また、我が家訪問の外出支援もしている。職員は「安心・安全・スキルアップ」に努め、レポート作成や勉強会・研修会等で課題を設定して、質の高い介護支援に努めている。家族は、事業所や職員の日頃の温かな支援に感謝しており信頼関係が厚い。医療連携体制での協力医療機関で、24時間緊急対応できる支援をして本人や家族から安心されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな心と心のふれあい」「地域と共に」を基本理念とし、理念を共有し理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	理念を職員全体で毎朝のミーティングや日々のケアの中で確認し合い、共有しながら取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所を地域の施設と位置付けており町内会に入り、地域の祭りごとを大切にし、見学に参加させて頂くことにより地域の一員として交流している	地域の行事や小学校の運動会に参加したり、町内会行事の小・中学生による「祓川棒おどり」はホームでも披露してもらい、馴染みになっている。近隣の住民がホームに遊びに来たり、日常的には利用者の散歩中に畑仕事や犬の散歩をしている住民との語りやふれあいがある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	高齢者の多い地域である。高齢者の方々の生活を見て、困っておられる様子が見られた時には、自然に声をかけてお手伝いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では利用者やサービスの実際・評価への取り組み状況等について詳しく報告を行っている。毎月発行するホーム便りによる生活の風景写真や色々な行事等を見て貰い、それに対する意見を頂き、より良いサービスの向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的開催し、町内会長・消防団・市担当者・家族等の参加がある。自己評価や外部評価の報告や町内会行事・スプリンクラー設置・災害防止対策等、意見や要望が提起され、実施に向けて取り組んでいる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者と日頃から連携を取り合い疑問に思った事や分からない事などについては積極的に相談したり質問したりしながら協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者は家族会や運営推進会議等に参加し日頃から連携を密にしている。事務上の手続きで、市担当の窓口に出向き、相談や情報交換などを行い交流を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアに向けての勉強会を行っている。利用者の転倒や転落等を未然に防ぐ方法がないか常に話し合い拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の昼間の施錠はしていない。身体拘束の勉強会を定期的実施しており、身体拘束による弊害も全職員は理解している。日常的には、入居者の言動を把握して、外出希望者には、散歩と一緒に出かけたり精神的な拘束にも配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	管理者や職員は毎月のスタッフ勉強会の中において高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち事業者内での虐待が絶対に起こらないケアに取り組んでいる。研修会へ参加し研修結果報告も行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は日常生活自立支援事業や成年後見制度について研修会への参加または毎月のスタッフ勉強会のテーマに取り上げ学ぶ機会を持っている。ご家族の中には必要性を感じておられる方もおられ、アドバイスは行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約時に管理者による重要事項説明がある。その中において利用者側からの不安や疑問点を尋ねている、質問に対しては分かりやすく十分な説明を行い理解・納得を得られている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の方々は意見要望を上手く伝えられないが、日々接している中において、職員は感じ取れる部分も多い。家族等意見についてはその都度お聞きしたり意見箱等の設置において気軽に相談を頂き、職員間で改善に向けての話し合いを行い運営に反映させている。	毎日の生活の中で話しかけたり、表情・言動等で思いや意見を把握している。家族等の面会時や家族会議・運営推進会議の時や意見箱などを通して意見を把握している。意見・要望は職員間で話し合い、改善に向けて運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議があり、職員の意見の言える機会を設けている。提言などもレポートを提出して代表者や管理者は業務に反映させている。</p>	<p>毎日の申し送りや毎月の職員会議・レポートで提言を提出するなど意見や提案を把握している。代表者や管理者は職員の意見を運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年1回はホーム全体の食事会も開催している。職場環境作りを良くし、各自が向上心を持って働けるよう色々な意見を聴くことに努めている</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月1回の勉強会に加え、医療法人等からの研修会への参加も行っている。研修への参加は均等に受けられるよう配慮している。資格取得も積極的に促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの職員との交流も大切にしている。相互訪問等により。ホーム内の環境作りや活動内容を見せて頂き、勉強し、よりよいサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用について相談があった時には必ず本人や家族と会い心身の状態やそれぞれの思いに向き合うようにしている。精神的不安の無いよう温かい支援づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様にお会いし、困っている事や不安な事・要望等を詳しく尋ねメモしておく。誠意を持って対応していけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約をしに来られた際は管理者がご家族様に懇切丁寧に対応している。又、ご家族様の必要としている支援を見極め十分に話し合い、本人に必要としているサービスの対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活をしている中において料理の下ごしらえや本人に負担のない範囲で色々なお手伝いをして頂いている。スタッフと一緒に行う事で会話も弾み、楽しい雰囲気の中で家族のような関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人を理解した上でどうしても難しい状態・状況が見られた時にはご家族に相談し共に本人を支える関係が出来ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室にはご家族様と過ごされた頃の写真や面会に来られた時に写した写真、思い出のある置物等が飾ってある。友人や孫様、親戚の方々の面会があった時にはぜひまたおいで下さるよう声掛け行っている。	知人が遊びに来てお茶飲みしたり、毎日の散歩の時など、知人と出会ったりして語らいがある。また、孫・親戚・友人などの面会で継続的繋がりがある。本人の希望で自宅訪問の支援をして、大切にしていた水仙の花を見て喜ばれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの性格や好みなどを把握し会話が弾み笑いが多く聞かれている。また、上手くコミュニケーションがとれない方には職員や利用者様が間に入り話に参加できるように支えあえるような支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了者は入院によってであった。症状が安定した場合にはいつでも相談して頂けるような関係づくりやお手紙を書いたりしている。町で偶然にお会いした時にも家族の相談や悩みごともお聞きしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの会話や行動の中から思いや意向をくみ取れるように努めている。また困難な場合にはご家族様からの情報や要望を聞いたり相談したりしている。	思いや意向を、日常の言葉や表情・行動から把握している。また、家族と連携を取り合い思いを聞いている。得意なヨモギ団子づくりや馴染みの場所や海辺へのドライブに行きたい等の意向を聞き、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活歴を伺って介護サービス利用の参考にさせて頂いている。また、生活の流れの中でご家族様や職員との気づき、話し合いにおいて経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人にあった心身状態を把握し個性を大切にしながら、出来る事を喜び、出来ないことへの支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月、一人ひとりのサービス内容の把握の意味も踏まえ、職員の方々へサービス内容の評価をして貰っている。その結果をケア会議で話し合い、意見や気づき、要望・アイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	課題とケアについて、本人や家族・関係者の意見を踏まえ介護計画を作成している。介護計画はケア会議で話し合い、意見や気づきを反映させ現状に即した計画である。アセスメントやモニタリングを行いながら、本人本位の計画の見直しが記録されている。モニタリングは毎月実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録で残す事の大切さは職員一同認識しており、その記録は個々にされている。朝の申し送りや記録を読み合う事で情報を共有し、実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況・その時々生まれるニーズに対応出来るよう話し合える時間を設けている。気付きや要望に柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小学校の運動会や地域主催の夏祭りや踊りの見学にも参加し楽しんで頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の受診は基本的にはご家族で行って頂くようにと思っはいるが、ご家族様において、都合がつかず、困難な場合が多い。ご家族様に代わり、ホームでの様子を伝え報告することでかかりつけ医との信頼関係を築き適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族の希望どおり、かかりつけ医の受診や往診・訪問看護など、利用しながら適切な医療を受けている。主治医とは、入居者の現状やホームの様子を報告して信頼関係を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の関わりの中でとらえた情報や気づきをスタッフと話し合い定期受診時に担当医の先生に相談を行っている。また訪問看護を必要とした場合には適切な受診や看護を受けられるよう支援していく。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご本人への支援方法に関する情報を詳しく説明したまた頻繁に見舞いに行く事で情報の交換・共有に努めた。ご家族やソーシャルワーカー・担当医との間に入りより良い関係のもと早めの退院支援が出来た。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護計画の説明時に現状報告と共に今後の方針・意向・終末期等の話し合いは十分に行っている。より良い支援に向けての取り組みや今後の状態変化に備えての準備体制も地域の関係者（かかり付け医）と共に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けての方針は入居時に、重要事項説明書で説明して同意を得ている。今後、状態の変化に備えて、訪問看護等を利用しながら主治医と連携をとり、事業所でできる支援の方針を共有するように取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備えてマニュアルにそった勉強会も行っている。消防署の方々に来て頂き、応急手当訓練や心肺蘇生訓練も行う予定である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害対策における勉強会や年2回の火災避難訓練を実施している。又緊急連絡網により従業員近くに住む地域の方々の協力が得られるような体制も築いている。</p>	<p>消防署や地域の協力を得て、昼間・夜間それぞれの想定避難訓練を実施している。緊急連絡網による住民の協力体制もできている。運営推進会議で地震・水害の訓練の提起があり取り組みをしている。備蓄は食料品・備品・缶詰・水など、常備されている。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの誇りや尊厳を大切に言葉の持つ意味の大切さを十分に考慮している。職員は人格の尊重に配慮した言葉かけや対応を行っている</p>	<p>利用者の尊厳を守り、人格を傷つけないように十分配慮して、自己決定しやすい言葉かけを行っている。プライバシーの確保について勉強会も実施している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>認知度が進むにつれ、本人の思いや希望を表わせ無くなるが、出来るだけ分かりやすい言葉でゆっくりと話し掛け、本人の意思を確認しながら支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ柔軟な対応が出来るように介護計画を作成している。一人ひとりに合った暮らしを希望に沿って支援できていると思う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服の購入もご家族様が本人に合う色やデザインを選んで持ってきて下さる。ヘアカットも定期的に介助サービスを行っている。外出時などにはその人らしいお洒落を支援し服用の乱れがないよう気遣っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるように一人ひとりの好みの把握に努めている。料理の下ごしらえや味付けの具合などへの参加も頂き、笑いの多い楽しい雰囲気での食事支援が出来ている。	自家栽培の米や季節の野菜が食卓にあがり喜ばれている。味見や料理の下ごしらえなど、職員と共に行い、楽しい雰囲気での食事支援ができています。月1回の外食や季節毎の行事食も楽しみの一つである。ほとんどの利用者が全量摂取している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や水分量のチェックをその都度行い一日を通して確保できているかの確認を行っている。また水分摂取を拒まれる方には時間に関係なく細目に飲んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアチェックも毎回行っている。毎食後の義歯洗浄に加え夕食後はポリデント洗浄も行っている。認知症の人に多く見られる口腔内の疾患についても学び注意もしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の失敗やおむつ使用を減らす意味においては一人ひとりの排泄パターンを把握したり、時間での誘導、排泄チェック表での確認等で自立に向けての支援を行っている。	プライバシーに配慮しながら、排泄パターンを把握している。排泄チェック表を確認しながら時間での誘導をして、トイレで排泄できるように支援している。日中オムツ使用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄・排尿チェック表を基に早め早めの対応に心がけている。食べ物（繊維の多い食材）果物・ヨーグルトなど多めに摂取して頂く。水分も多めに摂取どうしてもダメな場合は排泄を促す緩下剤を処方している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を好まれる方は多いが、本人の意志や体調を考慮して行っている。認知度が進むにつれて声掛けや、時間のタイミングが重要となっている。個々に応じた入浴支援を行っている。	基本は毎日入浴であるが一人ひとりの気分や体調を考慮して、時間帯も希望に応じて、週3～4回の入浴を支援している。風呂を好きでない利用者への工夫も、薬風呂や入浴剤の色を変えたりして、楽しんで入浴するように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	一人ひとりの生活パターンを把 握しその時々 の状態・状況に 応じて対応して いる。一日を通 して安心して気 持よく休息し夜 もよく眠れてお られる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使 用している薬の 目的や副作用、 用法や用量につ いて理解しており 、服薬の支援と 症状の変化の確 認に努めている	服薬支援は確 実にスタッフが 行っている。定 期薬の変更や追 加薬については 受診記録紙や薬 局からの説明書 を個人ファイル に閉じてスタッ フ全員が理解で きるようにして いる。その後の 症状の変化につ いても観察確認 行っている。		
48		○役割、楽しみ ごとの支援 張り合いや喜 びのある日々を 過ごせるように 、一人ひとりの 生活暦や力を活 かした役割、嗜 好品、楽しみご と、気分転換等 の支援をしてい る	手踊りの好き な方や歌うこと が好きな方がお られその方々と 共に喜びのある 日々を過ごして おられる。定期 的にドライブや手 作りのお弁当を 持ってピクニック を楽しんでいる。		
49	18	○日常的な外出 支援 一人ひとりの その日の希望に そって、戸外に 出かけられるよ うに支援に努め ている。また、 普段は行けない ような場所でも 、本人の希望を 把握し、家族や 地域の人々と協 力しながら出か けられるように 支援している。	普段なかなか 行けない場所へ の外出としては 、年に数回レス トランでの食事 会や季節ごとに 咲く色とりど りの花の観賞に 外出したり、年 1回の一 日旅行も計画し 楽しんで頂いて おります。ご家 族様への参加も 呼びかけては おりますが今の ところ参加はあ りません	日常的にはホ ーム周辺の散歩 を行っている。 4月は桜やふじ ・山茶花など、 季節ごとの花を 楽しんだり、移 動パン屋でパン の買い物をし たり、その日の 希望に沿って外 出支援をしてい る。月1回の外 食や年1回の一 日旅行では足湯 を楽しみにして いる。家族の参 加も呼びかけて いる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人、ご家族様からのお金の所持を希望される方はおられません。ほとんどの方は管理が難しい状況である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方より、家族の様子伺いの電話があれば、職員が間に入り、本人に分かりやすく説明し楽しい会話が成立しています。また誕生日のプレゼントが届いた時、病状が快方に向かっている時とか電話連絡しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やホールは、季節の花や散歩の途中で摘んで来た草花を生け、季節を感じながら穏やかに過ごして頂けるよう努めている季節に応じてホーム内の環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>玄関やホールは季節に応じた雰囲気づくりがされている。食堂の上部の壁には、職員が花紙で作ったピンクの大きなうさぎが飾ってあり、うさぎの話をしたりして、居心地よくくつろいで過ごせる工夫がしてある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にあるソファでゆっくりくつろぐ人、好きな居場所がそれぞれにある。気の合った利用者同士で笑いの多い日々を過ごしておられる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室は遠方からの面会の家族があれば宿泊も可能である。それぞれの部屋には思いのある写真や置物等があり、居心地の良い空間が出来ている。</p>	<p>居室は馴染みの家族写真やテーブル・花が飾ってある部屋など、個性的である。掃除も行き届いて、遠望には緑の山並みが見え、居心地よく工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全面バリアフリーになっており、廊下は手すりがなく設置されており、利用者が安全に歩行できるようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない